



にかほ 市議会だより



春の息吹き（撮影者：土田喜久治きくぢ（長岡）／撮影場所：ブルーライン旧料金所）

土田さんは、21年間にわたり市の不法投棄監視員としてご活躍されています。
この写真は、不法投棄監視員として巡回中に撮影された1枚です。
にかほ市の豊かな自然環境を守るために現在9名の監視員の方々が活躍中です。

3月定例会

会派代表質問	2～4
一般質問	5～9
平成25年度当初予算・議案・陳情	10～12
質議・討論	13
委員会審査報告	14～15
議会活動・編集後記	16

会派代表質問

同好の会 響



齋藤 修市

総合発展計画に基づく

主な施策について

質問 市の政策の中でも資源を生かした水産業の推進の中で、「つくり育てる漁業」の推進の他、漁業者の経営の安定化を支援するとあります。今、漁業者が困っている事は、魚がいても荒天が続く、漁に出れず水揚げが出来ないと云う事であります。漁獲共済制度があるものの、市としての支援策があっても良いと思います。また6次産業化への取り組みについて伺います。

市長 市では、漁業共済に加入するに当たり、自己負担分に対して共済費の20%を補助しているところがございます。また、市では不漁だからといって現金を漁師の皆さんに補助するというのは、行政としてはなかなか難しいと思います。また、生産基盤となる漁港の整備、魚礁の整備は漁業者からの負担金はい

ただいっておりません。ただアワビの放流事業については一定の負担をいただいで放流事業をやっております。基盤整備については漁業者の皆さんから負担をいただかないで、県事業に市が5%あるいは10%の負担をして基盤を整備している状況でございます。

具体的にこういう支援をしてほしいというふうな要請があれば検討をしていきたいと思っております。6次産業化への取り組みについては漁業者の熱意も大切になりますのでさまざまな機会を通して気運を高めてまいります。



▲アワビ放流事業

市民クラブ



奥山 収三

当市の観光行政に対する

基本的な考えについて

質問 将来にわたりにかほ市の観光はどうあるべきと考えていますか。

市長 観光素材としてはよそには負けないくらいのものであるのではないかなと思っております。まずは中小の宿泊施設に宿泊斡旋できるように仕組みづくりを考えております。

また同時に、魅力ある新たな観光商品の開発も必要であろうと思っております。

現在、来訪者については立ち寄りの方々が多く、なかなかお金が地域に投下されない、素通り観光になつていく。こうした課題に積極的に取り組んでいかなければならないと思っております。ところでございます。

質問 当市の観光産業の効果的な活用方法。例えば各機関(観光協会、商工会、JR等々)との連携の取り方、関わり方をど

のように考えていますか。
市長 昨年10月には、観光協会や商工会を初め、関連する団体の参加を得て、民間主導のにかほ市観光推進プロジェクトチームを立ち上げました。まずは意識を高めるために観光フォーラムなども視野に入れて活動をしているところでございます。また、いかにして市内の各種団体、市民の皆さんが積極的に取り組んでいけるかということにかかっているのではないかと思います。JRの持つ販売宣伝力は欠かすことのできない大きな力でございます。



▲象潟駅でのお出迎え

会派代表質問

創明会



宮崎 信一

市長選挙の立候補について

質問 本予算は概算予算ではなく通年予算との説明でございました。今秋行われる市長選挙に立候補するかどうかお伺いします。

市長 今、にかほ市が抱える課題に全力を傾注し、後援会の皆さんなどと相談し、熟慮を重ねて結論を出したいと思えます。

災害に強い

まちづくりについて

質問 今回提供された地震被害想定調査に関わる津波関連データの検討に当たって、女性の視点は十分に反映されたものか、お伺いをいたします。

市長 この調査は4つの委員会と専門部会がございます。合計18名で全て男性であります。市としては地域防災計画の見直しに係る市民会議を立ち上げ、3回ほど会議を開催してきていますが、委員23名中、女性6名となっております。女性の視点から見た防災について十分反映させてまいりたいと思っております。



▲ にかほ市地域防災計画書と鳥海山火山防災マップ

質問 鳥海山噴火時の災害マップとの関連性は見直しに考慮しているか。

市長 平成18年度に配布した鳥海山火山砂防マップも必要に応じて改正してまいります。同時に鳥海山火山砂防マップの見直しというふうな直接な関係はございません。

地方公務員給与の

削減について

質問 当市の職員に対して給与の削減を求めるとか伺います。

市長 具体的な内容についてはまだ明示されていない部分もあり、県内の各市町村の対応を踏まえながら判断してまいります。

政策研究クラブ



菊地 衛

地方公会計改革に伴う財務書類4表の公表と利活用について

質問 地方公共団体の財政の健全化と内部管理の強化、市民への分かりやすい情報提供の重要性に鑑み、国から財務書類の作成が求められています。財務書類4表の冊子には、作成の目的、解説、そこから得られる情報、用語解説と連結の書類、さらには普通会計ベースでの分析まで掲載されており、いずれも問題のない数値を示しております。にかほ市の財務書類4表を早い機会に市民にも公表すべきと思えますが、市長の考えをお伺い致します。

市長 公表については当初最大限精度を高めた上で公表しようかなと考えておりました。しかし、構造物の台帳整備が全て終了した後では公表がさらに遅れることから、先ずは平成23年度版の財務書類4表を議会に提示した後に、ホームページなどで公表してまいりたいと考えています。平成24年度版について

は、9月議会で承認をいただいた上で準備し、12月議会で公表して、その後市民へ公表してまいりたい。

財務書類4表の

利活用について

質問 現金主義の会計処理では見えてこない財産、負債など財政、財務が分かってくるわけですから多方面で活用できるものと思う。利活用を具体的にどのようにお考えかお伺いします。

市長 具体的な利活用については、資産形成度、世代間の公平性、持続可能性、効率性などにより分析を行います。市民一人当たりの資産額、純資産比率、負債額、行政コストなど市民にとって如何に的確に分かちやすく開示してゆくことが大切だと考えております。平成26年度中には第3次行政改革大綱の作成がございます。その際にも財務書類4表を

市の中長期的な財政状況を把握する見極めながら積極的な活用を図っていきたく思います。



▶ 財務4表

会派代表質問

一心会



佐々木弘志

基本的協議項目について

質問 「新市において、文化施設を3年後に建設し引き続き総合体育館を金浦地内に建設するものとする」のみが、実現しておりません。ご意見を伺います。市長 市を取り巻く環境が大きく変わる中で、約束したことから文化施設や総合体育館の整備を進めるとの考え方は、多くの市民が望んでいることではないと考えております。どうしても必要な熱回収ごみ焼却施設事業などは進めなければなりません。今大切なことは雇用創出に繋がる産業振興、少子化や高齢者対策、生活弱者を支える政策の実施であろうかと思えます。したがって文化施設及び総合体育館施設の建設は、さらに先送りせざるを得ない状況と考慮しておりますので、これまで申し上げてきたことは多くの市民から御理解いただけるものと考えております。

中山で実施中の風力発電は

質問 仁賀保高原で実験中の風力発電機が、南極に2度運ばれておりますが、南極において結果が良好となれば、地元企業での生産設置等は、考えられないか。

市長 昭和基地に5基を設置する計画でしたが、残念ながら昨年、一昨年と2年間南極観測船しらせが、基地に接岸できず陸揚げを断念し持ち帰ったという状況です。

地元での生産については、由利本荘市とにかほ市に工場がある企業が、製造したものです。十分この地域で製造する技術は持っておりますので、引き続き日本飛行機との接触を図り地元での生産をお願いしていきたいと思っております。

日本共産党



村上 次郎

地方公務員給与削減について

質問 地方公務員給与削減を国が要求することは、筋違いだと思いますが、見解を伺います。

市長 国が地方交付税削減というペナルティー的要素を持つ地方公務員の給与削減を求めてきたことについては、大変遺憾に思っており、一時的なラスパイレス指数で左右されるものではないと考えております。ただし、地方交付税に相当額の減額措置が行なわれた場合、他の公共団体の状況を見ながら慎重に対応してまいりたい。国家公務員100のときに市職員は93前後でした。たまたま24年4月1日から7.8%削減したことによって100・5になったものであり、これは本来に一時的なものでございます。

地方交付税減額について

質問 地方交付税減額についてどのように考え、どうあるべき

と思うかお尋ねをします。市長 地方交付税は、地方公共団体運営の自主性を損なうことなく財源の均衡を図り、国が必要な財源確保と交付基準の設定を行ない、地方行政の計画的運営を確保することによって地方自治本旨実現と、公共団体の独立性強化を目的としております。

地方交付税は、国庫支出金などと異なり使徒が限定されない地方公共団体の一般財源でありますので、国が地方公務員の給与を国家公務員並みに半ば強制的に削減するような減額はできないものと考えております。



▲ 仁賀保高原で試験稼働中の南極風車



▲ 議会を傍聴する新人市役所職員

一般質問は5日、6日に行われ、8名の議員が市政全般にわたり、当局の所信や見解をただしました

伊藤 知 議員

- ◇ SNSの活用について情報伝達方法の多角化
- ◇ 消防署員の体制について
- ◇ にかほ市新産業創出プロジェクト事業化推進体制について

竹内 賢 議員

- ◇ ジオパーク活動事業化の推進を
- ◇ デステイネーションキャンペーン(DC)と国民文化祭に市民が幅広く参加できる計画を

鈴木敏男 議員

- ◇ 津波浸水想定に対する考え方について
- ◇ 有害物質「PM2.5」への対応について
- ◇ 今後における橋梁の補修計画について

池田甚一 議員

- ◇ 再生可能エネルギーの利用と行政の役割について

伊東温子 議員

- ◇ にかほ市における風力発電施設建設に関するガイドラインについて

市川雄次 議員

- ◇ 災害への取り組みを検証することについて

佐藤 元 議員

- ◇ 市道改良の優先順位を考える
- ◇ 象潟前川路線は現道の改良で対応出来ないか
- ◇ 冬師地内の県指定の自然環境保全区域について

村上次郎 議員

- ◇ 生活保護引下げは中止し、市として教育扶助費の拡充を
- ◇ 仁賀保中体育館の暖房について
- ◇ 証明書自動交付機設置の検討を

3月定例会一般質問

SNSの活用、情報伝達方法の多角化について



伊藤 知 議員

質問 東日本大震災以降、当市において災害に対する取り組み、情報伝達方法を検討されたかお伺いします。

市長 ソーシャルネットワークキングサービス(SNS)は、市民においても重要な情報収集の手段で東日本大震災の被災地では、インフラ網が不通という状況であり、その中でツイッターなどは情報伝達、あるいは収集に大いに役立ったといわれており、こうしたことも十分考慮して今後、先進地の事例なども参考に検討してまいりたいと思っております。

総務部長 SNSの課題として情報の正確性、信頼性の問題や利用者がまだ若年層に限られ低いと思われることから、市が発信する災害情報の伝達方法においてSNSの活用に関して、これまで検討してまいりませんでし

たが、重要な課題として取り組んでまいります。

質問 にかほ市の新産業創出プロジェクト事業化推進体制の進捗状況と検討内容について伺います。

市長 このプロジェクトは、この地域でオンリーワンとなるべく地域製品を産学官と金融機関が連携して開発して、国内外に売り込みましょうというもので、使用済み紙おむつを資源とする設備開発ですが、解決しなければならぬ課題が3つほどあります。機械の大きさ・価格・処理能力に難点があり、白金を使わないで悪臭を取り除くなどの課題を早く解決して、モデルをつくって売り込みをしていこうというのがこのプロジェクトの考え方であります。



▲市防災課に設置している無線統制室



議員 竹内 賢

ジオパーク活動 事業化の推進を

質問 この一年、市としてジオパークについてどのような取り組みをしてきたのか伺います。

市長 市職員による先進地の視察やフォーラムへの参加、短大の教授を招いての研修、そして由利本荘市、遊佐町、酒田市の職員との意見交換などを行っております。

質問 呼び掛け対象の3市町はどのように受け止めて対応されて来ているのか伺います。

総務部長 遊佐町は4市町で連携して検討したいとの意向です。酒田市はもう少し時間をかけたこと。由利本荘市はまだ情報不足と言うことで慎重に対応したいとの意向でした。

質問 25年度の事業計画をつくるにあたってジオパーク活動について検討されたのか伺います。

総務部長 他市町とも相談してからになります。先進地の視察も視野に入れていきたいと考えております。また、本市だけで決められることでもござい

まので今後4市町でよく検討して連携を図ってまいりたいと考えております。

質問 デイステイネーションキャンペーン(DCC)と国民文化祭に市民が幅広く参加出来る計画を

質問 プレDCCに取り組んだ結果についてどのように受けとめていますか。また、本番のDCCに市民を参加させていく方策を考えているのか伺います。

市長 JRさんとの契約宿泊施設では、前年と比べて宿泊客が上積みされたという情報もあります。市民と一体となった取り組みが必要と考えますので、フォーラムや勉強会を開催しながら参加を呼びかけ、DCCを盛り上げてまいりたいと思っております。



3月定例会一般質問

津波浸水想定に対する考え方について



議員 鈴木 敏男

質問 当市の防災計画等に変更がありますか伺います。

総務部長 従来の津波想定浸水高を大幅に超えた想定高が公表になりましたので、結果を踏まえて当市の防災計画等を変更してまいります。

質問 避難路等の整備計画21箇所を整備状況はどうなっておりますか伺います。

総務部長 1ヶ所については断念せざるを得なくなり、残り20ヶ所については25年度で整備いたします。

質問 それぞれの避難場所は想定される津波に対応できますか、備蓄倉庫は現在の場所ですらよろしいでしょうか伺います。

総務部長 全部で81ヶ所ありますが最大津波高10・14mを下回る場所が7ヶ所存在いたします。

市民の意見を聞きながら再検討を行いたいと考えております。防災倉庫については、象潟、金浦は浸水域ということで検討する必要があります。

質問 今後の避難訓練にどのように反映させますか伺います。
総務部長 津波の到達時間が最大に達するのが29分と示されており、より早く、より高い場所へ避難するという意識を避難訓練の柱として周知を図ってまいりたいと考えております。

質問 災害時における協定の今後の締結は考えないか伺います。

総務部長 現在合計で14件の締結状況です。あと協議中ですが、金融機関との協定について今進めております。

質問 災害対策基本条例の制定を検討しないのか伺います。

総務部長 今後、他市の条例制定の動向も見ながら必要であれば検討したいということでございます。





池田 甚一 議員

再生可能 エネルギーについて

質問 自然エネルギーを利用する発電施設は市内にも進出しているが、行政は関係事業体どのような姿勢で臨まれるのかお伺いいたします。

市長 住民への影響や自然環境、景観に配慮しながら風力発電の導入を支援するため、市独自のガイドラインを作成したところです。再生可能エネルギーを活用する場合には、地域住民とのコンセンサスも必要でありますので、調整を十分とってまいりたいと考えております。

質問 にかほ市民の再生エネルギーについての意見や御心配をどのように把握されているかお伺いします。

総務部長 平成23年2月に策定しました、にかほ地域再生エネルギービジョンを検討する中で、市民アンケート調査を実施しております。具体的な提案としては、風力、太陽光発電の導入と公共施設への設置などの意見がありました。

質問 新エネルギーと地元経済、地元産業発展の関連について、市内の中小企業が新たなエネルギーに関する接点はあるの

か、また意欲的に新産業と言われる再生可能エネルギーの分野に進出する意欲のある企業を行政の範囲内で捉えられているのか、伺います。

市長 発電機などの風車の部品の大半は、地元の企業でも十分できるような部品で、地元でそのものを供給できるような形になれば、当然建設コストも下がっていくし、それからメンテナンスの部分についても地元にも還元はありますし、設置した事業者に対しても利益が上がるわけですから、にかほ市の企業も一緒になって参画していったほしいと思っております。

質問 木質系資源を利用した熱暖房、また熱源、エネルギーについての普及についてのお考えをお伺いいたします。

市長 一般家庭に普及していくというのはまだ今の段階では難しいのではないかと思います。ボイラーを開発して公共施設に使うといったも、設備投資が必要になってきます。これによって、どのくらいの雇用が生まれるか、そういうことも踏まえながら、これから少し勉強させていただきたいと思っております。

3月定例会一般質問

にかほ市における風力発電施設建設に関するガイドラインについて



伊東 温子 議員

質問 ガイドラインの策定の経緯と経過についてお伺いいたします。

市長 国としても送電網の整備など積極的に再生可能エネルギーを導入する動きがあることを踏まえ、本市では、乱開発を防止し、観光資源でもございませぬ鳥海山や日本海などの景観の保全、そしてそれから生まれる産物を損なうことがないよう、今年1月に風力発電施設建設に係るガイドラインを策定したものであります。

質問 ガイドライン策定委員会のようなものが必要だったのではないかと伺います。

市長 ガイドラインの策定については、行政としての指導、その役割の中でのガイドラインとして策定したわけです。事業所とのトラブルとかないよう事業を進める・景

観を阻害しないように進める、これは行政の役割として基準を定めたものでありますから、その点については御理解をいただきたいと思っております。

質問 にかほ市には文化財やすばらしい景観があります。エリア選定は考えられなかったのでしょうか。

市長 鳥海国定公園なら鳥海国定公園・天然記念物なら天然記念物・農業振興地域の整備に関する法律など、開発できないところがいろいろあるわけです。そういう状況を踏まえてガイドラインをつくったわけでありまして、エリア選定はしておりませぬ。

質問 ガイドラインの中に市は必要に応じて専門家等の意見を聴取することができるかとありますが、そうした意見や各種関係団体から事業者が得た意見等を住民や市民が共有する場はないのですか、お伺いいたします。

市長 公表する場を検討してまいりたいと思っております。

質問 事業者は住民の意見で環境影響評価方法書を書きかえた場合、何度でも説明会を開くことになるのか伺います。



市川 雄次 議員

災害への取り組みを 検証することについて

質問 市は、県が12月28日に公表した津波関連データを元に、津波と避難について地域防災計画の見直しに係る市民会議を開催しました。どのようなことが話し合われ、どのような見直しの必要性が強調されましたか。
総務部長 地域によって異なる避難路や避難場所の確保、災害時要支援者の避難態勢の確立、繰り返し行う訓練や防災教育の重要性・必要性を感じたようです。

正しく災害をイメージできて防災意識を常に持ち続けることが減災につながることを学んだところからです。
質問 11月21日の図上訓練の結果と検証について伺います。
市長 情報整理の優先順位をつけずに、対策本部に報告するのが遅れたり、全く報告しなかった事例がありました。緊急に対策を講じなければならぬ事業を最優先していかなければならないと感じています。
他の班との連携を紙を使って行うのか、防災GISを活用す



▲消防防災GISを活用した災害対策本部設置訓練の様子

るかで情報の共有や集計のスピードが違い、その後の救助や復旧に非常に重要だと感じています。

災害のイメージをもって重大な事案を見逃さない着眼力、想像力を身につけることが大事だと思います。

これからできるだけ多くの職員の参加を得ながら訓練していきたいと思いますが、今回は50点ぐらいかと思っています。

(※GISは地理情報システム。コンピュータ上に様々な情報を登録し、情報の分析を行います。)

3月定例会 一般質問

象潟前川路線は現道のままで対処できないか



佐藤 元 議員

質問 いつ発生するか予測出来ない災害時の緊急性と不特定多数の住民の要請する緊急車両を考えれば、象潟前川線は重要な路線と思います。問題は列車との複雑な関係です。冠水における事例を伺います。

産業建設部長 踏切の遮断による支障は消防活動においてはなかつたことです。救急活動においては、年2〜3回踏切で止まることがあるということですが、遮断による急病人の生命に支障を来したことはない聞いています。

質問 この7年間で二度の冠水が確認されていますが、どのように受けとめられていますか。
産業建設部長 冠水の多い少ないに関係なく、市民の安全・安心を担保する、災害に強い道路づく

りが必要と考えております。
質問 現道の改良工事で対処できないか、部署内で検討されたことはありますか。
産業建設部長 いろいろ検討してきました。今の現道ではもう何ともならないとことが結論として出ております。

質問 路体や路床の土木工法まで検討されている結論ですか。
市長 今の状況からすると維持はできません。下の方に手当てしなければ、拡幅しても将来に残すような道路にはならないと、私は思っております。



▲象潟前川線道路



村上 次郎 議員

生活保護引き下げは中止し、市として教育補助費の拡充を

質問 現政権は、生活保護費の大幅削減を打ち出しているが、多くの国民がやめたらいじやないかという声があるが市長の考え方についてと、市内の生活保護世帯、就学援助、最低賃金、課税などの影響についてお尋ねします。

市長 削減の改革については、慎重に対応してゆくべきだろうと思えますし、国でしっかり議論してもらいたい。生活保護世帯においては、期末一時扶助も見直しが予定されているので、すべての受給世帯で支給額が減ってゆくのではないかと受けとめている。また生活保護の基準額は他の多くの生活支援制度の目安になっており、最低賃金については、生活保護との整合性に配慮すると最低賃金法に明記されており、就学援助については、申請世帯の収入額及び必要額の算定を行っているが、引き下げになればいろんな分野に影響がでてくるのではと思っています。

課税については、生活保護受給者の住民税は免除されています。

質問 就学援助費の該当者とその内容についてお尋ねします。
教育長 就学援助世帯、準要保護世帯の該当者は毎年増加する傾向にあります。クラブ活動費、生徒会費、PTA会費については、学校によって活動の仕方、徴収の仕方が違っており、公平性に欠けるという点から準要保護の就学援助費には、加えておりません。今後は、他の市町村の動向を見て研究してまいりたいと考えています。



にかほ市議会 議会報告会のご案内

にかほ市議会では、市民の皆様との交流を深め、開かれた議会を目指して昨年より議会報告会を開催しています。

議会報告会は、議員が地域に出向き、直接、市民の皆様に対して議会活動の状況を報告し、市政に関する情報をお伝えするとともに、皆様との意見交換や要望、提言を聴くものです。

今回は、3月定例会での審議状況も報告いたします。
この機会にぜひ足を運んでいただければと思います。

地区	開催日	場所	時間	地区	開催日	場所	時間
仁賀保	5月22日(水)	両前寺自治会館	18:00 ~20:00	金 浦	5月21日(火)	黒川地区農業構造改善センター	18:00 ~20:00
	5月23日(木)	中野自治会館			5月21日(火)	小砂川自治会館	
	5月23日(木)	石田自治会館			5月22日(水)	横岡自治会館	
	5月24日(金)	堺自治会館			5月22日(水)	大須郷村づくりセンター	
	5月29日(水)	釜ヶ台地区老人憩の家			5月23日(木)	長岡自治会館	
金 浦	5月20日(月)	赤石老人憩の家 赤石館		象 潟	5月24日(金)	象潟公会堂	

どの会場にお越しいただいても結構です。
さらに詳しい内容については、5月15日号の「市広報紙」の折込をご覧ください。

問合せ先 にかほ市議会事務局 TEL 43-7511

3月定例会 (2月25日~3月22日)

平成25年度各会計予算を可決 平成24年度各会計補正予算

第2回3月定例会は、2月25日から3月22日まで開かれ、平成25年度各会計の予算や平成24年度一般会計補正予算をはじめ、議案47件が提出されました。

また、にかほ市議会政務活動費の交付に関する条例制定についてなど5件の議員提案が出され、いずれも可決しました。

平成25年度一般会計予算及び平成24年度一般会計補正予算については、特別委員会に審査を付託のうえ、最終日の本会議において委員長報告を行い、平成25年度各会計予算9件、平成24年度各会計補正予算8件が原案のとおり可決・承認されました。

このほか、にかほ市観光振興基金条例制定、にかほ市新産業支援センター条例制定などの議案が提案され、いずれも可決しました。

陳情については、2件提出され、全て採択のうえ、意見書を関係機関に送付しました。

平成25年度各会計の予算と平成24年度各会計の補正予算については、次の表のとおりです。

平成25年度 一般会計・特別会計予算

(単位:千円)

会計別		平成25年度	平成24年度	比較増減額
一般会計		13,268,000	12,633,000	635,000
特別会計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,142,844	3,037,558	105,286
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	92,500	79,000	13,500
	後期高齢者医療特別会計	259,869	262,527	△ 2,658
	簡易水道特別会計	90,165	74,582	15,583
	公共下水道事業特別会計	1,233,025	1,045,191	187,834
	農業集落排水事業特別会計	412,840	391,219	21,621
計		5,231,243	4,890,077	341,166
合計		18,499,243	17,523,077	976,166

(単位:千円)

事業別	項目	収入	支出	
企業会計	ガス事業	収益的	544,914	525,683
		資本的	124,574	199,693
	水道事業	収益的	448,509	432,958
		資本的	180,252	308,805

平成24年度 一般会計・特別会計補正予算

(単位:千円)

会計別		既定額	今回補正額	合計
一般会計		14,524,620	776,066	15,300,686
特別会計	国民健康保険事業特別会計事業勘定	3,174,703	62,336	3,237,039
	国民健康保険事業特別会計施設勘定	84,632	291	84,923
	後期高齢者医療特別会計	262,527	△5,477	257,050
	公共下水道事業特別会計	1,014,287	△2,327	1,011,960
	農業集落排水事業特別会計	398,476	14,774	413,250
	計	4,934,625	69,597	5,004,222
合計		19,459,245	845,663	20,304,908

(単位:千円)

事業別	項目	既決予定額	今回補正予定額	合計	
企業会計	ガス事業	収益的収入	517,316	24,140	541,456
		収益的支出	493,232	33,926	527,158
		資本的支出	138,472	15,755	154,227
	水道事業	収益的支出	444,626	△1,235	443,391

3月定例会に上程された議案

議案番号	件名	議決の結果
議案第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決
議案第3号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決
議案第4号	人権擁護委員候補者の推薦について	可決
議案第5号	にかほ市情報公開条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第6号	にかほ市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第7号	にかほ市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第8号	にかほ市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第9号	にかほ市地域振興基金条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第10号	にかほ市奨学資金貸付基金条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第11号	にかほ市立金浦中学校施設整備基金条例を廃止する条例制定について	可決
議案第12号	にかほ市勢至公園環境整備基金条例を廃止する条例制定について	可決
議案第13号	にかほ市観光振興基金条例制定について	可決
議案第14号	にかほ市新産業支援センター条例制定について	可決
議案第15号	にかほ市象潟公会堂条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第16号	にかほ市勤労青少年ホーム条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第17号	にかほ市立図書館条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第18号	にかほ市B&G海洋センター条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第19号	にかほ市新型インフルエンザ等対策本部条例制定について	可決
議案第20号	にかほ市介護実習室条例を廃止する条例制定について	可決
議案第21号	にかほ市準用河川に係る河川管理施設等の構造の技術的基準等を定める条例制定について	可決
議案第22号	にかほ市水道事業給水条例の一部を改正する条例制定について	可決
議案第23号	秋田県後期高齢者医療広域連合規約の一部改正について	可決
議案第24号	債権の放棄について	可決
議案第25号	市有財産の無償譲渡について	可決
議案第26号	市有財産の無償譲渡について	可決
議案第27号	にかほ市簡易水道特別会計への繰入れについて	可決
議案第28号	にかほ市公共下水道事業特別会計への繰入れについて	可決
議案第29号	にかほ市農業集落排水事業特別会計への繰入れについて	可決
議案第30号	平成24年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)について	可決
議案第31号	平成24年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定補正予算(第4号)について	可決
議案第32号	平成24年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定補正予算(第3号)について	可決
議案第33号	平成24年度にかほ市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	可決
議案第34号	平成24年度にかほ市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第35号	平成24年度にかほ市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)について	可決
議案第36号	平成24年度にかほ市ガス事業会計補正予算(第2号)について	可決
議案第37号	平成24年度にかほ市水道事業会計補正予算(第2号)について	可決
議案第38号	平成25年度にかほ市一般会計予算について	可決
議案第39号	平成25年度にかほ市国民健康保険事業特別会計事業勘定予算について	可決
議案第40号	平成25年度にかほ市国民健康保険事業特別会計施設勘定予算について	可決
議案第41号	平成25年度にかほ市後期高齢者医療特別会計予算について	可決
議案第42号	平成25年度にかほ市簡易水道特別会計予算について	可決
議案第43号	平成25年度にかほ市公共下水道事業特別会計予算について	可決
議案第44号	平成25年度にかほ市農業集落排水事業特別会計予算について	可決
議案第45号	平成25年度にかほ市ガス事業会計予算について	可決
議案第46号	平成25年度にかほ市水道事業会計予算について	可決
議案第47号	平成24年度にかほ市一般会計補正予算(第9号)の専決処分の報告及びその承認について(専決第2号)	承認
議案第48号	にかほ市障害者自立支援認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例制定について	可決
議提第1号	にかほ市議会政務活動費の交付に関する条例制定について	可決
議提第2号	最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める意見書	可決
議提第3号	年金2.5%の削減中止を求める意見書	可決
議提第4号	にかほ市議会基本条例の一部を改正する条例制定について	可決
議提第5号	にかほ市議会広報の発行に関する条例の一部を改正する条例制定について	可決

賛否一覧表

※採決で賛否が分かれた案件を掲載しています。他は全会一致で可決しました。
 ※佐藤文昭議長は裁決に加わりません。

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	議決結果	
議員名	村上 次郎	竹内 睦夫	佐々木 弘志	伊東 温子	鈴木 敏男	宮崎 信一	飯尾 明芳	佐々木 正明	小川 正文	市川 雄次	菊地 衛	池田 甚一	奥山 収三	竹内 賢	加藤 照美	伊藤 知	佐藤 元	齋藤 修市		
議案第11号	○	●	●	○	○	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	可決
議案第14号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第33号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第38号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第41号	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議提第1号	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○	●	●	●	●	○	○	○	○	○	可決

○：賛成 ●：反対

陳 情

陳情の件名	陳情者の氏名	付託委員会	結果
最低賃金の大幅引き上げと、中小零細企業支援の拡充を求める陳情書	秋田県春闘共闘懇談会 代表委員 中村秀也 他1名	産 建	採 択
年金2.5%の削減中止を求める陳情	全日本年金者組合秋田県本部 執行委員長 渡部雅子	教 民	採 択

決議・意見書

採択した上記2つの陳情について決議し、意見書については関係機関に提出しました。

傍聴席から



象潟町二の丸 兵藤 利夫

市議会を傍聴するきっかけは、効率化を図り、ムダを省く事を旨としてきた小生にとつて、四年前の多くの市民が参加した議員報酬に対する市民運動からであります。ロビーのモニターテレビの前でも、傍聴席に入れなかつた多くの市民が映し出される議場を見ておりました。

それまでは、小生も市政に関心はあつても傍聴するまでは至っておりませんでした。

傍聴者の多かつた四年前の頃を思い出す時、最近の少なさに少し淋しさを感じております。

自分自身も最近では、市長の施政方針演説、又は関心のある議員と議案の質疑のある時以外は傍聴回数も少なくなつてしまいました。今回のこの傍聴席からの寄稿も、傍聴者が小生一人だつた為に強く依頼されたものであります。

市民の市政への参画意識の高さが市の発展につながるとすれば、やはり市議会の傍聴者数も一つのバロメーターとなるのではないのでしょうか。

その施策としてこんな事も。

- 一、毎月の広報配布に合せ、今後の議会スケジュール一覧表を発行する。コピーやパンフレットでよい。
- 二、質疑議員は事前に支持者等とその内容について意見交換する。

時間的制限もあると思うがそれだけでも効果があると思ふ。

にかほ市の有権者千人のうち一人傍聴されれば、傍聴席は満席になるのだが。

しかし、多くのかほ市民は市政に大いに関心を持つている事も知るべき事と思ふ。

議案質疑・討論

〈質疑〉

議案14号
にかほ市新産業支援センター
条例制定について

問 条例化の意義は？

答 新事業の創出、企業誘致促進のための条例化です。

市内休遊施設の有効活用により、立ち上げまでの時間短縮と円滑な事業開始を求める企業のニーズへの対応です。

問 3施設毎の使用料は？駐車場の土地使用料は？

答 仁賀保センターは年間479万167円、象潟は349万8070円、釜ヶ台は96万8836円の見込みですが、事業が安定するまで減免措置と考えます。駐車場も無償貸与する考えです。

問 事業の安定とは？

答 コールセンターは研修終了まで、釜ヶ台はもう少し時間が必要かと考えます。

問 今後、民間の工場購入の検討は？

答 視野に入れていきます。



議案30号
平成24年度にかほ市一般会計
補正予算について

問 災害対策費の委託料、工事費の内容は？

答 国の大型補正に伴う平成25年度事業の前倒しによるものです。津波避難路及び避難場所150万円、防災行政無線150万円、備蓄倉庫設計管理委託料50万円です。

津波避難路、避難場所の整備工事12ヶ所5169万3000円、防災行政無線増設工事6ヶ所3000万円、異常気象観測と津波カメラの設置が3ヶ所2500万円、防災備蓄倉庫整備工事1ヶ所1150万円です。

議案38号
平成25年度にかほ市一般会計
予算について

問 固定資産税の個人・法人の状況は？

答 個人分では延べ1万8157人、税額で6億4735万円、法人は延べ810社、6億4846万円です。

問 減免を受けている世帯、個人、法人等の状況は？

答 個人分は土地分は40人の減免額33万円、家屋分40人の76万円、合わせて延べ80人の減免額109万円を見込んでいます。

法人分は観光施設設置条例や工業振興条例などによる減免ですが延べ34社、減免額は1889万円を見込んでおります。

議案47号
平成24年度にかほ市一般会計
補正予算の専決処分報告及び
その承認について

問 除雪費が2500万円の増額補正について、業者のパトロールの実施や除雪稼働と除雪後の点検をどのように把握しているか。

答 1ヶ月毎に提出されるパトロール日誌及び稼働報告書、担当課の職員の道路パトロール等で確認しています。市民の方々からの情報で手直しもやっています。

問 自治会や町内会との連携は？

答 広報やチラシでの周知のほか、地区内の除雪の不備や排雪依頼は自治会長にお願ひし、除雪要請には職員が出向、状況の確認をしています。

問 必要でない時も来ているが、職員の確認、自治体や町内会への依頼の検討は？

答 路線のどこかに吹き溜まりが発生すれば、その路線を通って行くことになり、無意味に動いているという考え方は持っていません。これからもパトロールは十分にやっていきたいと思っています。

〈討論〉

議案38号
平成25年度にかほ市一般会計
予算について

反対討論

村上 次郎 議員

地方公務員の給与引き下げのために国が地方交付税を一方的に削減するやり方には賛成できません。政府が民間に賃上げを要請する一方で、公務員給与を引き下げるといっては相反する行為ではないでしょうか。

地方公務員給与引き下げはやるべきだという立場からの反対討論とします。

賛成討論

鈴木 敏男 議員

災害対策に力を注ぐ当局の姿勢が示されており、雇用の確保対策として、緊急雇用創出臨時対策基金事業としてコールセンター人材育成を中心に大幅な予算措置をするなど、喫緊の課題に取り組み計画を遂行しようとしております。農業・農村6次化産業の支援、あるいは新産業への支援などを行い、元気なまちにしていこうという事業への取り組みが予算全体の中に随所に見られ本議案に対して賛成するものです。

委員会審査報告

総務常任委員会

当委員会に付託された議案5件について審査したのでその主なものを報告します。

「にかほ市情報公開条例の一部を改正する条例制定について」は、市民と情報を共有できる部分がある場合に拒否することなく、個人に不利益を生じる恐れがある場合に拒否することができ、情報公開の精神がそなわれることにはないとの答弁でした。

「にかほ市特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について」は、スポーツ推進委員及び母子自立支援員等の報酬額を整備し、新たに鳥獣被害対策実施隊員を加えるための一部改正です。

「にかほ市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について」にかほ市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部を改正する条例制定について「は、診療所医師の給料及び手当を整備するための提案であり、委員からは、研究熱心で地域医療に貢献しており改正には賛成であるとの意見でした。

「にかほ市地域振興基金条例の一部を改正する条例制定について」は、合併市町村の速やかな一体感の醸成や均衡ある発展を目的として合併特例債が設けられ、計画どおりに基金造成が完了したことに伴い、設置目的であります市民の連帯の強化及び地域振興を図るための提案であります。

「平成24年度にかほ市一般会計補正予算(第10号)」については、コミュニティバス運行経費について、羽後交通時代より800万円の経費節約との答弁でした。

「平成25年度にかほ市一般会計予算について」は、税収見積もりについては、企業に対して直接状況を聴取し現状把握に努めたとの答弁、いずれも全員の賛成で可決しました。

総務常任委員長

加藤 照美

教育民生常任委員会

当常任委員会に付託された議案は、議案第10号から48号までの間で20件ありましたが、全員の賛成、又は賛成多数で可決されました。また、陳情1件も全員

の賛成で採択されました。主なものについては、議案第25号、26号の市有財産の無償譲渡について現場踏査を行い、建物の確認を行いました。介護実習室として建設された建物ですが、目的が達成した事で浩寿苑、蕉風苑に譲渡されるものです。

議案第42号の簡易水道の自家発電装置設置について質問がありました。8ヶ所ある簡易水道のうち3ヶ所が必要で、26年以降の工事で完成するとの答弁でした。

議案第30号24年度の補正予算、議案第38号25年度の一般会計予算について全員の賛成で可決されました。30号関係では子宮頸がん等予防接種の県補助金等、また斎場の委託業務の内容等について、38号関係ではゴミ焼却炉の補修工事内容、乳幼児の口タウシルスワクチンの市全額負担等の審査、教育委員会関係では小中学校への太陽光発電設置について、また文化財保護関係では、郷土の貴重な資料の収集要求についてあらゆるネットワークを使って積極的に収集して行くとの答弁がありました。

教育民生常任委員長

齋藤 修市

産業建設常任委員会

付託された議案16件中、15件は全員の賛成で、14号については賛成多数で可決しました。

議案14号「新産業支援センター条例の制定」は、コールセンター及び(株)岩城のかあさんに、建物を整備し貸付できるようにするための条例制定です。

この議案は、市民の雇用を創出するための施策であり、積極的に捉えるべきとの意見がある一方で、対象のうち岩城のかあさんの経営状況に懸念されるところもあることから、引き続き市が積極的に働きかけ、この条例が良好に活用されることを望む意見が出されています。



▲譲渡された浩寿苑介護実習室

委員会審査報告

その他、水道事業について、今後収益の落ち込みが予想される中で、簡易水道を統合しなければならぬことなどから、すぐにはないが水道料金の値上げも検討しなければならぬとの見通しが示されています。

産業建設小委員会

当委員会で審査した産業建設部及び農業委員会に係る内容については、24年度一般会計補正予算（10号）及び25年度一般会計当初予算のいずれも全員の賛成により可決されています。

25年度予算は、24年度に引き続き、80名規模の象潟コールセンターを新たに開設するための支援に大きな予算配分をするなど、雇用対策に関する施策を優先にした内容となっています。

その他にも、植物工場による先端アグリビジネス推進事業補助金に対して500万円の補助をするなど、県と歩調を合わせながら新産業の創出のための取り組みを積極的に展開しようとしています。

産業建設常任委員長
市川 雄次

にかほ市議会政務活動費の交付に関する条例が施行されました

平成25年第2回3月定例会において、にかほ市議会政務活動費の交付に関する条例が賛成多数で可決され、4月1日から施行されました。

政務活動費は、会派や議員が行う調査研究費などの議員活動に必要な経費の一部に充てることのできるもので、交付申請することにより、交付されます。交付にあたっては、収支報告書の提出を義務付けるとともに、必要に応じて調査を行うなどの適正な運用を期し、その使途の透明性の確保に努めています。

■ 交付対象
会派及び会派に属しない議員

■ 交付額

- ① 会派に交付する場合
年度初日における会派所属議員数×年額12万円
 - ② 会派に所属しない議員
年度初日に在職する議員1人につき年額12万円
- なお、政務活動費に残余が生じた場合は市長へ返還されます。

雇用対策調査特別委員会中間報告

昨年12月に、「雇用対策調査特別委員会」が設置され、8人の議員が構成員となりました。これまで委員会の構成を決めることなどを含め5回の会議ももちました。

この特別委員会は、議題や案件があつて審議するこれまでの特別委員会とは性格が異なり、独自に何を調査し、どんな対策をとれるか白紙の状態から創り上げていく委員会となりました。

まず「離職、雇用等の状況がどうなっているか」基本となる実態調査をすることにしました。

これまで調査したことの主なものは次のとおりです。

- ① TDK関連の事業所
- ② TDK再編に伴い閉鎖される事業所、移動先、影響を受ける従業員について
- ③ 事業所ごとの離職者数と再就職の状況
- ④ 企業の求人情報
- ⑤ 誘致企業の実情等

離職者へのアンケートでは、「ローン返済が心配」「雇用保

険をもらいながら、ハローワークに行き仕事を探している」「早く仕事を探したい」との声もあり大変な状況がわかります。

また、行政の雇用・支援策についても調査をしています。

① 国・県の雇用・支援策には、離職者を正規雇用した場合に経費助成制度等があります。

② 市独自の雇用対策としては、緊急雇用や事業所への雇用促進助成をおこなっているほか、経済・雇用に関する「相談窓口」も開いております。

今後は、他関係機関等からの聞き取り調査などを行い対策を進めていく予定です。

雇用対策調査特別委員会
委員長 村上 次郎



▲ 商工会、雇用対策調査特別委員会との懇談会（4月19日開催）

議会活動

◇議会関係行事

年月日	行 事	場 所 等
H25. 2. 1	議会運営委員会 雇用対策委員会 にかほ市議会議員研修 にかほ市議会議員研修 にかほ市議会議員研修	象 潟 庁 舎 に か ほ 市 内 市 都 舎 男 東 象
2. 4	秋田市議会議長会定例会 (～5日)	鹿 京 庁
2. 6	全国市議会議長会評議員会	鹿 京 庁
2. 8	第1回臨時議会 雇用対策調査特別委員会	鹿 京 庁
2.15	議会運営委員会 予算説明会	鹿 京 庁
2.18	雇用対策調査特別委員会 議会運営委員会	鹿 京 庁
2.22	議会運営委員会 全員協議会	鹿 京 庁
2.25	第2回定例会 (～3月22日) 会派代表会議	鹿 京 庁
2.27	会派代表会議	鹿 京 庁
3. 7	市の観光振興に向けた取り組みに関する意見交換会	鹿 京 庁
3.19	議会運営委員会	鹿 京 庁
3.26	議会運営委員会	鹿 京 庁
4. 3	広報広聴委員会	鹿 京 庁
4.10	議会運営委員会	鹿 京 庁
4.15	茨城県大洗町視察 (～16日)	茨 城 県 大 洗 町 舎
4.17	広報広聴委員会 議会報告会打合せ会	秋 田 市 内 舎
4.18	東北市議会議長会定期総会 (～19日)	秋 田 市 内 舎
4.19	にかほ市商工会・雇用対策調査特別委員会との懇談会	秋 田 市 内 舎
4.22	広報広聴委員会	秋 田 市 内 舎
4.24	会派代表者会議	秋 田 市 内 舎
4.25	議会運営委員会	秋 田 市 内 舎

発行責任者にかほ市議会広報広聴委員会

郵便番号 〇一八〇一九二
秋田県にかほ市象潟町字浜ノ田一

☎〇一八四一四三―七五一
〇一八四一四三―七五三

発行部数 一〇,〇〇〇部

「議会会議録」をホームページと各庁舎で公開しています。
市議会の会議録を市のホームページと象潟庁舎市民ホール、金浦庁舎玄関ロビー、仁賀保庁舎で公開しています。
お気軽にご覧下さい。

25年度の新予算が雇用対策や生活環境整備等の大型プロジェクトを含めた132億6千8百万円的一般会計予算として可決されましたが、広報委員会では市民の皆さんからもつと愛される議会、だよりと広報広聴委員会と名称も変えて、議会に対する意見箱の設置や議長面会日を設けること、広報モニター制度を創設するなどの提言をし、多くのことが改善されてきました。しかし、映像による広報活

「市議会だより」の表紙写真を募集しています。
市議会だよりの表紙や、記事内に掲載する写真を皆様から募集しています。
発行は5月、8月、11月、2月の年4回ですので、発行時期に合うものをお願いします。
議会事務局までお問合せください。
☎43―7511

編集委員 佐々木正明
！開かれた議会を！

